

# 27 埼玉医科大学総合医療センター

## 病院の概要

- **医師数 (研修医除く)** 449 名 (うち指導医数 133 名)
- **病床数** 1,053
- **研修医数** 1 年目 44 名 2 年目 33 名
- **昨年度マッチング受験者数** 203 名
- **研修医の主な出身大学** 埼玉医科大学、鹿児島大学、獨協医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、佐賀大学、福島県立医科大学、信州大学、大分大学、弘前大学、日本大学、富山大学、秋田大学、滋賀医科大学、鳥取大学、ランシット大学、慶応義塾大学、高知大学、東京医科大学、岐阜大学
- **診療科** 消化器・肝臓内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、心臓内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、脳神経内科、神経精神科 (メンタルクリニック)、小児科、新生児科、消化管外科・一般外科、肝胆膵外科・小児外科、血管外科、プレストケア科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科・美容外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、産科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、産科麻酔科、高度救命救急センター、救急科 (ER)、総合診療内科/感染症科・感染制御科、輸血・細胞治療部、病理部
- **1 日平均外来患者数** 1,915 名
- **1 日平均入院患者数** 757 名
- **主な認定施設** 高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床研修指定病院



## 研修プログラムの特色

当院では病院の特性を活かし、日常的に遭遇する common disease から専門性の高い疾患のマネージメントまで幅広い研修ができるように工夫しています。研修プログラムは、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる「埼玉医科大学 3 病院自由選択プログラム」、臨床研修と大学院コースを同時に学べる「研究マインド育成自由選択プログラム」、小児科・産婦人科等での研修を重視した「産婦人科・小児科重点研修プログラム」があります。

4 月の導入研修 (オリエンテーションを含む) では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することができます。また、2 年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

毎月 1 回の CPC の他に、ランチョンセミナーも定期的に開催し、必修項目に関連した講義を行っています。

プログラム例 埼玉医科大学 3 病院自由選択プログラム (募集定員 44 名)	
	1~4 週   5~8 週   9~12 週   13~16 週   17~20 週   21~24 週   25~28 週   29~32 週   33~36 週   37~40 週   41~44 週   45~48 週   49~52 週
1 年目	導入研修 (4 週)   内科 (24 週)   救急 (8 週)   外科 (4 週)   小児科 (4 週)   小児科 (4 週)   産婦人科 (4 週)
2 年目	産婦人科 (4 週)   精神科 (4 週)   地域医療 (4 週)   自由選択 (40 週)
<b>【必修】</b>	内科 24 週、救急 8 週、麻酔科 8 週、外科 4 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週 (2 年目)
<b>【自由選択】</b>	2 年目の 40 週 (地域医療 8 週の場合は 36 週) は、どの診療科、施設で研修するか、研修期間を含めて研修医自身が選択出来る。その他 産婦人科・小児科重点研修プログラム (募集定員 4 名)、研究マインド育成自由選択プログラム (定員 2 名)

## 研修医の処遇

- 給与** 給与：36 万円/月 (基本給 25 万円、諸手当、賞を含む平均月額給与)  
賞与：前年度実績 50 万円/年
- 諸手当** 日・当直手当、時間外手当、住宅手当、通勤手当、扶養手当
- 保険** 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険、医師賠償保険 (個人加入、義務)
- 勤務時間** 原則 8 時 30 分 ~ 17 時 30 分
- 当直** あり (平均 4 回/月) (診療科により多少異なります)
- 休暇** 9 日/月、有給休暇 (1 年次：10 日、2 年次：11 日)
- 宿舎** あり (月額 2 万円、補助あり)
- その他** 白衣貸与 (クリーニングは病院負担)、研修医個人専用の机・ロッカー、仮眠室・シャワー・ラーム (男女別)、電子カルテ、共有 PC (インターネット接続可能)

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・沖縄県立北部病院 (附属診療所含む)
- ・イムス富士見総合病院
- ・帯津三敬病院
- ・恵愛病院
- ・東松山市立市民病院
- ・赤心堂病院
- ・秩父病院
- ・霧ヶ関南病院

## 当院の魅力

### 大学病院から離島まで

埼玉医科大学総合医療センターは、最先端の設備の中で平成 19 年には埼玉県よりドクターヘリ基地病院、平成 28 年には小児救命救急センターの指定を受けた地域基幹病院として高度な医療を提供し地域医療に貢献するのみならず、埼玉医科大学病院群の中では「Super General Hospital」と位置づけられ、診療のみならず大学病院として教育、研究にも優れた成果をあげています。

高度救命救急センター新棟を始め、外来化学療法センター、血液浄化センター、内視鏡センター、無菌室病棟などを新設し、病棟も順次改修工事を進めており、最新の設備で充実した研修を行うことが出来ます。

地域医療研修では、沖縄県立北部病院 (同附属診療所を含む)、沖縄県立宮古病院での研修を 2 週間選択することができます。(往復の交通費及び宿泊費 (上限あり) の補助があります。)

実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評です。小江戸川越は古い街並みを残す歴史のある落ち着いた都市です。都内から近いこともあり近年多くの観光客で賑わっています。伝統と都会的な新しい感覚が混じった川越で研修医としての 2 年間でスタートしてみませんか。



## 研修責任者からメッセージ



高橋 健夫  
研修管理委員長

埼玉医科大学総合医療センターは、歴史あふれる小江戸川越に位置する病床数 1,053、1 日外来患者数 2,000 名超、36 診療科に総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター及び小児救命救急センターを有し、がん・難病など多くの拠点病院となっている県内最大の医療施設です。診療とともに教育、研究にも力を入れており、初期臨床研修では大学病院としての機能を十二分に発揮した高度な先端医療から、common disease を中心とした地域医療まで幅広い疾患を学ぶことができます。一言で表すと「大学病院でありながら common disease も研修できる」研修病院です。私どもは、臨床研修の目標を「日常診療で頻りに遭遇する病態や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につける」ことを基本とし、その上でさらなる専門教育を行っています。全診療科に研修指導責任者、指導医をおき、日常の悩みから効果的な研修などの適切なアドバイスを行い、研修目標が到達できるように支援しています。さらに研修管理委員会に研修医や若手医師が委員として加わっており、研修医の生の声を反映できる研修システムとなっています。

2 年間の研修中には、人気の沖縄離島研修も組み込まれていますので、大学病院から離島までの幅広い医療の現場を体験することが可能です。私どもは研修医の先生方ひとりひとりを大切に育て、次世代のわが国の医療を担う人材を育てたいと考えています。多くの方々がわれわれの門戸を叩いてくれることを心より歓迎いたします。

## 先輩研修医からメッセージ



福本 彰音  
研修医 2 年目

私が初期研修に求める条件として、手技を積ませてもらえること・幅広い症例を経験できること、がありました。当院は大学病院としてだけでなく、市中病院としての顔も持ち合わせているため、common disease から専門性の高い症例まで、たくさん経験することが出来ます。また、先生は教育熱心な方々ばかりです。「手技をやりたい」と言えば、丁寧に指導してくださるので、初めてのことが多くても不安なく行うことが出来ます。

同期も温かくて頼れる仲間ばかりです。ほとんどが埼玉医大出身の中、他大出身の私にも、気さくに優しく接してくれます。仕事が大変な時でも、みんなで乗り越えていこうという雰囲気があります。

皆さんも当院で研修して、充実した毎日を送りませんか?お待ちしております!



吉川 吉憲  
研修医 1 年目

私が感じた当院で研修するメリットは、自分の熱量に合わせて研修できる点です。当院には教育熱心な先生ばかりで、こちらのやる気にはしっかりと応えてくれます。「手技をやりたい、ここがわからない……」など自分の本音をぶつけてみましょう!さらに優しいのは指導医の先生だけでなく、研修 2 年目の先輩方も最高に優しいです。1 年間の経験値で 1 年目の私たちを細かくサポートしてくれます。全力で頼りましょう! (感謝は忘れずに。) また同期はもちろん、先輩方も仲が良く、フットサルや野球などのスポーツ、ご飯、ゲーム、旅行などプライベートでも楽しんでいます。自分の裁量で研修の質を上げたい、プライベートも充実させたい方は是非当院での研修を考えてみてください。お待ちしております!

## 女性医師支援コーナー

- ・当院では子育て支援の一環として、短時間勤務制度を設けており、女性医師の働きやすい環境を支援しています。産前産後の休暇はもちろんのこと、日直、当直の免除や短時間勤務を利用しながら、安心して子育てと研修ができるようサポートしています。
- ・院内には保育所 (定員 80 名) を設置しており、保育士は 25 名以上在籍しておりますので安心して預けられます。
- ・女性医師就業継続支援窓口 (医療人育成支援センター女性医師部門) を設けています。



## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。当院ホームページに掲載の申込書を入力し、メールに添付してお申込み下さい。

- 連絡先** 埼玉医科大学総合医療センター、臨床研修センター
- 住所** 〒350-8550 川越市鴨田 1981
- T E L** 049-228-3800 (直通)
- F A X** 049-228-3802
- E-mail** kensi@saitama-med.ac.jp
- U R L** http://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/resident/
- アクセス** 東武東上線、J 川越線 川越駅からバス 25 分

